『水とみどりが織りなす景観の持続的な保全と活用』の実現に向け

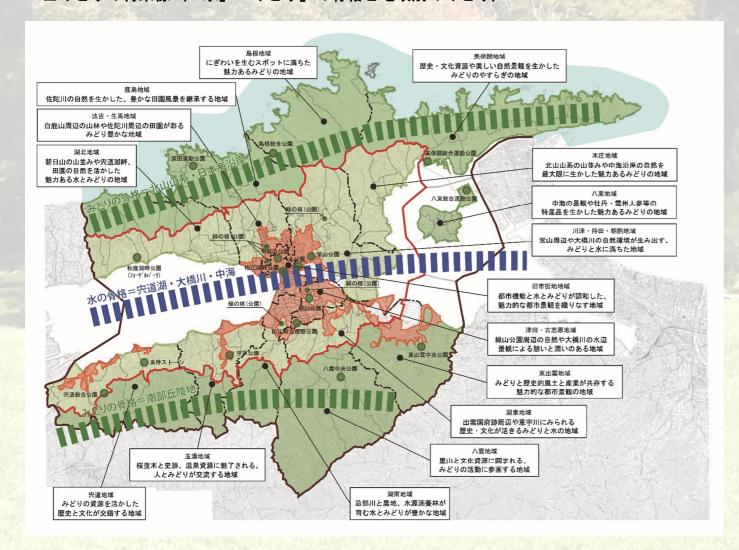
(南型)の[

本市は、北山山系・日本海沿岸(北部)と南部丘陵地(南部)の「みどりの骨格」とラムサール条約に登録され日本ジオパークに認定された宍道湖・中海と大橋川からなる「水の骨格」、城山・堀川など歴史的な背景をもつみどりや、社寺林や市街地に点在する丘陵地などの「良好な景観を形成する水とみどり」など、豊かなみどりと自然環境が存在します。

今後、この『水とみどりが織りなす景観』を持続していくために、これら豊かなみどりと自然環境の保全と活用を図っていきます。

また、市内 16 地域ごとに「地域の将来像」を設定し、公園等のみどりに関する施策については、地域と市全体を踏まえた個別の実施計画を立て、取り組みを進めていきます。

■みどりの将来像(「水」・「みどり」の骨格と地域別のみどり)



松江市みどりの基本計画(概要版) 令和 2 (2020)年 3 月

《お問い合わせ》

〒690-8540 島根県松江市末次町86 松江市役所別館3階

松江市 都市整備部 公園緑地課

E-mail:kouen@city.matsue.lg.jp

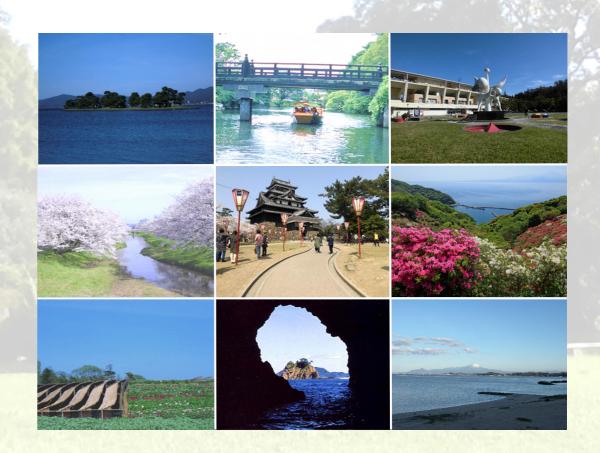
TEL:0852-55-5369 FAX:0852-55-5676

松江市みどりの基本計画

(概要版)

2020-2029

共創と協働による水とみどりが活きる 歴史と潤いのまち まつえ



みどりの基本計画とは

みどりの基本計画は、松江市の「みどり」に関する総合計画です。 「みどり」とは、植物の緑、公園や広場、街路樹をはじめ、社寺林、農地、家庭や 事業所の緑などのことで、湖や川も含むことから、広義の「自然的空間」を対象としています。 こうした「みどり」には、気温の調整や、災害時の延焼を防止する機能などがあります。 こうした「みどり」を適切に配置するため、公園の整備やみどりの保全など、 緑化の施策や目標を定めています。

新計画はこれまでの「みどり」を取り巻く社会状況の変化とともに、 アンケート調査での市民のみなさんのご意見を踏まえ策定しました。

松江市

令和7年3月時点 令和7年3月時点

共創と協働による水とみどりが活きる 歴史と潤いのまち まつえ

本市には、宍道湖や松江城山公園周辺に代表されるように、水とみどりが調和した美しい景観や、島根半島・ 宍道湖中海ジオパークで認められた貴重な地質地形遺産など、豊かな自然が存在するとともに、国宝である松江 城や城下町としての伝統的な街並み、さらには古代出雲の繁栄を物語る遺跡群や、これまでに蓄積した都市公 園、街路樹、河川・湖沼など、市域全体に多様なみどりが存在しています。

このたび策定した「みどりの基本計画」に基づき、行政、市民、企業、各種団体などさまざまな主体による共創・ 協働によって、みどりの創出や保全の取り組みに関わることができるような場の確保を図るなど、豊かな自然や水 辺を大切にしながら、歴史的な街並みと地域資源を活かした「歴史まちづくり」を推進することにより、「歴史と潤い のあるまちまつえ」を創出していきます。

■「松江市みどりの基本計画」施策の体系(基本理念~基本施策・取り組み)

| | | 本編 第2章 | | 本編 第3章 |
|-------------------|-------------|--------------------------------|----------------------------------|---|
| 基本理念 | みどりの 将来像 | 基本方針 | 基本施策 | みどりの保全及び緑化 の推進のための施策 |
| 共創と協働による水とみどりが活きる | <i>a</i> | 可能な共創・協働の仕組みづくり可能な共創・協働の仕組みづくり | ① みどりの愛護団等の活動団体の設立の支援 | ① 活動団体の拡大 |
| | みどりを育む人と人との | | ② みどりの保全活動に対する 支援 | ② 各種講習会の企画 ③ 活動団体への支援 ④ 緑化活動への支援 |
| | | | ③ みどりが受け持つ地域の自治 体、企業、各種団体等の連携 | ⑤ 地域の関連団体との相互連携⑥ 公園協議会制度の活用 |
| | | | ④ 多世代の交流による新たな 担い手確保 | ② みどりを活用したイベント開催や 活動団体の担い手確保への支援 |
| | | | ⑤ みどりに関する普及・啓発 | ® パンフレットや HP による広報 |
| | | | | |
| みどりが活きる | 水とみどりと歴史的風土 | 水とみどりが織りなす景観の | ⑥ 骨格となる水とみどりの保全 と活用 | 乳北山山系・日本海沿岸の自然環境 の保全と活用 |
| | | | | ⑩ 宍道湖・大橋川・中海の自然環境 の保全と活用 |
| | | | | 11 南部丘陵地の自然環境の保全と活用 |
| | | | ⑦ 良好な景観を形成する 水とみどりの保全と活用 | ② 堀川と松江城山公園の保全と活用 ③ 玉湯川と川沿いの桜等各地のシンボル となる水とみどりの保全と活用 |
| | | | | 14 社寺林や丘陵地の保全 |
| | 玉 岩 | | | 15 保存樹や保存樹林の保全 |
| 歴史と潤いのまち | 成芸の | | | 街路樹適正化計画を踏まえ景観に配慮した街路樹の整備景観に配慮したみどりの拠点と街路樹、河川や湖岸の緑地路のネットワークの活用 |
| 海 | | | | |
| (7) | みど | 地域のニーズに合わせたまちづくりの推進 | ⑧ 良好な自然環境を有する みどりの創出や保全と活用 | 18 生物の生息地としての水とみどりの 保全と活用 |
| Ď | | | | 19 山林や農地、ため池の保全と活用 |
| まち | まり ちを核 | | | ② 歴史的風土としての水とみどりの活用② 敷地内や屋上緑化・壁面緑化を利用した緑化の推進 |
| | とした魅力ある | | ⑨ レクリエーション機能を有するみどりの創出や保全と活用 | ② 都市公園などの計画的・適切な 施設整備 |
| まつえ | | | | ② レクリエーション機能を有するみどり の創出や保全と活用 |
| え | | | | ② 公園の賑わい創出や魅力向上に向けた 民間活力の活用 |
| | | | ⑩ 防災機能を有する みどりの創出や保全と活用 | 23 防災機能を有するみどりの創出や保全 と活用 |

■都市公園などの整備・管理の取り組み(持続可能で魅力ある公園づくり)

今後の都市公園などの整備・管理については、人口の減少や少子高齢化社会に適応した既存の公園の再整備や再 編、民間活力を導入した公園施設の維持管理など、公園の機能(環境維持・改善、防災性の向上、健康・レクリエーシ ョン空間の提供など)を引き出し、都市公園などを一層柔軟に使いこなしていくことが重要となってきます。

公園が市民の皆様にとって、より使い勝手が良く、行きたくなる公園となるよう、以下の2つの施策について、今後、具 体的に取り組んでいきます。

【施策1】:人口減少に対応した都市公園などの見直し

- ① 各公園の将来を見据えたマネジメント計画(維持管理計画)の推進
- ② 公園機能の見直しと再編の検討
- ③ 地域のニーズに合わせた公園施設の見直し
- ④ 防災機能の確保
- ⑤ 開発行為による公園設置義務の緩和
- ⑥ 公園の適正利用の促進

【施策2】:市民や民間事業者との共創・協働による管理・運営の推進

- ① 地域住民等による維持管理の仕組みづくり
- ② 民間活力を導入した公園の利活用
- ■4つの重点的な取り組み(優先して施策を推進)[※] ^{目標}

① 都市公園等の公園機能の見直しと再編

市民にとってより使い勝手の良い公園、行きたくなる公園となる よう、公園緑地の機能を引き出すことにより、公園の「質」の向 上を図ります。

目標 みどりの満足度(市民アンケート調査) 33.1% ⇒ 現状以上

中間年度結果:56.1%

身近な公園の満足度(") 12.8% ⇒ 現状以上

中間年度結果: 21.3%



② 公園の維持管理

広報等による公園愛護団体の活動紹介をはじめ広く参加 ・協力の呼びかけを行い、人材不足の解消を図るなど、 公園愛護団体への活動支援を行い、公園の維持管理体制 の強化を図ります。

令和元(2019)年度 ⇒ 令和 11(2029)年度 中間年度結果:令和6(2024)年度

目標 公園愛護活動数 157 公園 ⇒ 180 公園以上

中間年度結果:185公園

③ 地域住民等による公園活性化の仕組みづくり

地域住民や自治会、企業、公園愛護団体、行政等の多様な主体の 参画により、身近な公園の維持管理や地域の賑わい創出、公園利 用のローカルルールづくりなど、公園の利便性の向上について話 し合う公園協議会の設置に向け、その仕組みづくりを推進します

目標 公園協議会を設置している公園数

0 公園 ⇒ 20 公園 中間年度結果:2公園

④ 民間活力を導入した公園の利活用

民間のノウハウを活かし、都市公園のストック効果を高 めることにより、公園の魅力の向上と効率的・効果的な 公園の整備や維持管理を行うための手法として、民間活 力の導入に向けた検討を進めます。

目標 民間活力の導入件数 9件 ⇒ 14件

中間年度結果:11件